

## 第141号

編集・発行

2023・9・26

社会福祉法人  
三戸町社会福祉協議会

〒039-0132

三戸町大字在府小路町17

TEL:0179(22)0262

FAX:0179(23)4146



# 社協だより

住み慣れた地域で、だれもが安心して暮らせるような福祉社会をめざしてがんばります!!



4年ぶりに開催したボランティアスクール オレンジカフェでの活動の様子 (R5.8.22 ふくじゅそう)

## ■おもな内容

ページ

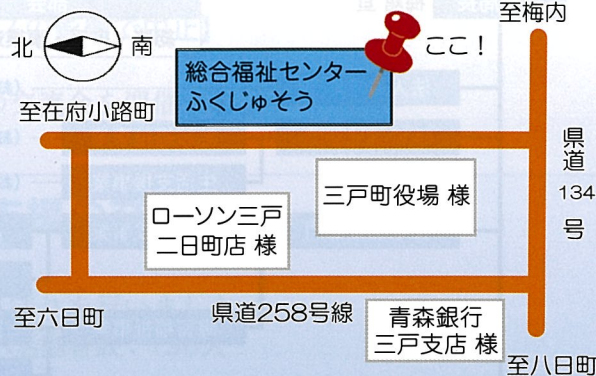
○役員の改選と組織図について ..... 2

○令和4年度  
事業報告、決算報告 ..... 3~6

○昔とった杵柄 シルバー健在 ..... 7

○各種お知らせ ..... 8

## 社会福祉法人 三戸町社会福祉協議会



この社協だよりは、県共同募金会からの配分金と社協会費を使わせていただいております。



# 役員の改選と社会福祉協議会組織図について

任期満了に伴う役員の改選の結果と本会の組織体制についてご報告いたします。

新役員は6月21日(水)の定時評議員会で選任され、同日の理事会で法人の代表である会長に藤村立夫、会長を補佐する副会長に大庭礼子、越後秀がそれぞれ選出されました。

新たな体制で、地域福祉の一層の推進に努めて参ります。

## 会長就任あいさつ

このたび、関向会長の退任に伴い、新会長に就任いたしました。謹んでご挨拶申し上げます。

関向前会長の願いを引き継ぎ、これからも町民の皆様がこの三戸で安心して暮らせるように、精一杯努力して参ります。

町民の皆様との対話を第一に、信頼され、親しまれる社協を目指していきますので、ご支援ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。



新会長 藤村 立夫

## 退任にあたって

6月21日をもって会長を退任いたしました。平成27年の会長就任から8年、皆様に支えられ、どうにか会長の務めを終えることができました。

藤村新会長は持ち前のリーダーシップを存分に発揮し、社協を引っ張ってくれと確信しております。

評議員として社協に関わってから25年、会長就任後は苦難とそれ以上の”喜び”に溢れた時間を過ごすことができました。誠にありがとうございました。

新体制での社協の一層の発展を願い、退任のことばとします。



前会長 関向 文男

**新役員** 任期/令和5年6月21日 から 令和7年度定時評議員会終結の時まで

### 会長

藤村 立夫

### 副会長

大庭 礼子

越後 秀

### 理事

照井 良清

伏見 しげ子

山下 正一

原 佳毅

中村 隆也

武士沢 忠正

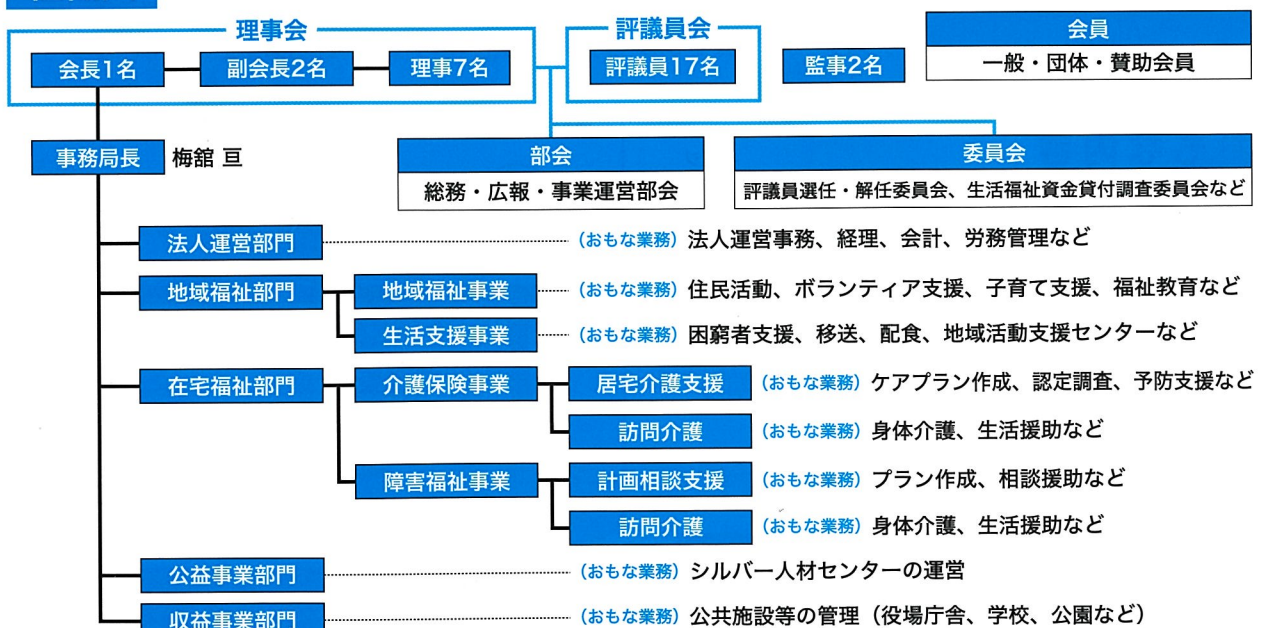
畑中 千恵子

### 監事

出張 博文

栗生 美智子

## 組織図

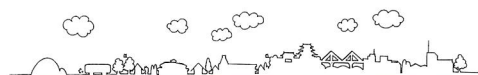


# 令和4年度事業報告と決算報告について

令和4年度の事業および決算についてご報告いたします。

昨年度は新型コロナの大規模な感染拡大により中止した事業もあったものの、年明けから収束に向かい、多くの事業を数年ぶりに再開できました。事業の実施に際し、慎重な判断が求められるなかで、町民の皆様をはじめ、関係機関の皆様には多大なるご協力と温かいご助言、ご指導をいただき、誠にありがとうございました。

## 令和4年度事業報告



### 住民参加と小地域ネットワーク活動の推進

#### ■ほのぼの見守りネットワーク事業

地域住民による一人暮らし高齢者世帯等への見守り活動を行いました。併せて見守り活動の普及啓発や活動の推進のための研修会を行いました。

協力員数：116人 対象世帯数：131世帯 延べ活動日数：4,972日

#### ■ふれあいサロン事業

1地区で地域サロンが実施されました。新型コロナの影響で常設サロンは休止しました。

実施回数：1回 延べ参加者数：12人

#### ■オレンジカフェ事業

地域の人をはじめ、認知症の人や家族、課題を抱える人等、誰でも来られて専門職との相談が出来るオレンジカフェを開設しました。

実施回数：4回 延べ参加者数：55人

#### ■福祉団体の事務局

福祉団体から委託を受け、各団体の事務局業務を行いました。

団体事務局：老人クラブ、介護者の会(ひまわりの会)、障がい者の会、ひとり親の会(いちご会)

### 高齢者福祉の充実

#### ■寿なかよし会事業、家族介護者交流事業 【新型コロナウイルスの影響で中止】

(計画していた内容)

寿なかよし会：地域の高齢者を対象とした日帰りのレクリエーションを開催する。

家族介護者交流：介護者の精神的負担軽減を目的とした研修会を開催する。

### 障がい者福祉の充実

#### ■地域活動支援センター「憩いの森あすもこっ」の運営

心身に障がいのある方の社会参加を目的に創作的活動や製作活動の機会を提供し作業を指導しました。

通所者数：7人（三戸町6人、南部町1人）

#### ■障がい者と子どもの交流会 【新型コロナウイルスの影響で中止】

(計画していた内容)

夏休みを利用し、心身に障がいのある人と中学生の交流会を開催する。

### 児童福祉の推進、ひとり親家庭への支援の充実

#### ■子ども見守り隊事業

地域のボランティアが児童の下校時に道路横断の見守りを行いました。

場所：久慈町バス停横断歩道 活動日数：196日 延べ活動者数：196人

#### ■ひとり親家庭相談支援事業

令和4年度に小中学校に入学したひとり親家庭の児童、生徒に図書カードを贈呈しました。

件数：14件 贈呈金額：42,000円



#### ■乳児おむつ等購入費助成事業

子どもが生まれた世帯におむつやおしりふき等の購入費を助成しました。

件数：25件 助成金額：125,000円

#### ■子ども子育て支援事業

町内の幼児児童施設や小中学校、子育て支援団体等に活動費を助成しました。

件数：9件 助成金額：360,000円

### 福祉教育、ボランティア活動の推進

#### ■社会福祉大会、ボランティアの育成・支援、ボランティアスクール

高齢者と子どもの交歓会 【新型コロナウイルスの影響で中止】

(計画していた内容)

社会福祉大会：式典と福祉功労者への表彰を行う。受賞者14名、6団体には直接表彰状を贈呈

ボランティアの育成・支援：ボランティア育成のための研修会を行う。

ボランティアスクール：小中高生が障害者施設でボランティア体験を行う。

高齢者と子どもの交歓会：地域の高齢者と児童館の児童がレクリエーションで交流する。

#### ■ボランティアセンターの運営

ボランティア活動をする人の保険加入業務などを行いました。

ボランティアセンターへの登録者の状況：9人、1団体

#### ■子ども福祉スクール

小中一貫三戸学園三戸小学校3年生を対象に高齢者疑似体験を行いました。

開催日：11月14日 場所：三戸小学校体育館 参加者数：49人

#### ■子どもほのぼの交流員事業

小中一貫三戸学園三戸小学校4年生が高齢者との交流を通じて高齢者福祉について学びました。

ガイダンス/開催日：11月7日 参加者数：57人 交流会/開催日：11月28日 参加者数：65人

#### ■中学生ふれあい講座

小中一貫三戸学園三戸中学校の生徒と養護学校の生徒がバラスポーツで交流しました。

開催日：10月28日 参加者数：73人

#### ■福祉図書購入費助成事業

町内の小中学校に対し、福祉に関する図書の購入費を助成しました。

助成先：2校（三戸小中、斗川小） 助成金額：60,000円（2校合計）

### 福祉情報の提供、相談支援体制の充実

#### ■社協だよりの発行

広報誌「社協だより」を発行しました。

発行回数：5回（6月、9月、11月、1月、3月）

#### ■ホームページの運営

ホームページを活用して事業や福祉制度を発信しました。

#### ■心配ごと相談事業

相談員が、心配ごとや困りごとに対して、助言やアドバイスを行いました。

開設日数：12日 相談者数：8人 相談件数：9件

### 社協組織の強化

#### ■社協会員増強運動

7月から8月にかけて社協会員を募集しました。会費は地域福祉事業に活用いたしました。

納入件数：2,862件 納入金額：3,035,000円

### 地域生活支援事業

#### ■外出支援サービス

寝たきりや車いすの人に対して病院や施設、公共機関への送迎サービスを提供しました。

延べ利用件数：1,366件

#### ■除雪支援サービス

有償ボランティアが高齢者世帯等に対して自宅玄関から生活道路までの除雪を行いました。  
稼働回数：161回

#### ■みまもり配食サービス

食事の用意が困難な高齢者等を対象としたお弁当の配達サービスを行いました。  
延べ食数：14,328食

#### ■福祉安心電話サービス

高齢者世帯等に安心電話を設置し、緊急時の安心、安全を提供しました。  
設置台数：33台

#### ■商品宅配サービス

日常の買い物が困難な高齢の方などに、地域の商店と連携して、商品を配達しました。  
利用件数：95件

#### ■日常生活自立支援事業

判断能力に不安がある人に対し、金銭管理等の生活支援を行いました。  
利用者数：7人 支援員数：5人

#### ■福祉機器貸与事業

車椅子等の福祉機器の無償貸与を行いました。  
貸出件数：40件（内訳：車椅子19件、手すり4件、ほか17件）

#### ■生活福祉資金、たすけあい資金貸付事業

低所得世帯等に対して相談支援と金銭の貸付を行いました。  
相談件数：21件 貸付件数/金額 生活福祉資金：1件/200,000円 たすけあい資金：2件/100,000円

#### ■フードバンク事業

低所得世帯等に対して食料品や生理用品を含む生活必需品等を提供しました。  
利用者数：25人 利用件数：45件

---

## 在宅福祉サービス事業

#### ■居宅介護支援サービス（ケアマネジメント）

高齢の人が安心して生活するための支援を行いました。  
居宅支援業務：1,962件 介護予防支援業務：30件 要介護認定調査業務：118件

#### ■計画相談支援業務

障がいのある人が安心して生活するためのサービス計画を作成しました。  
利用件数：86件

#### ■訪問介護サービス

高齢の人への身体介護と生活援助のサービスを提供しました。  
利用件数：12,661件

#### ■障害福祉サービス

障がいのある人への身体介護と生活援助のサービスを提供しました。  
利用件数：974件

---

## 公益事業・収益事業

#### ■シルバー人材センター

定年退職者などのシルバー世代が、それまで培った技術や経験を生かして、企業や家庭からの草刈り作業等の依頼に応えました。

会員数：32人 受注件数：255件 受注金額：7,494,564円 延べ就業人数：1,337人

#### ■三戸町一括受託業務、部活バス

役場庁舎や小中学校などの公共施設の運営に必要な人員を配置しました。  
業務：役場庁舎の日直、公園の整備、小中学校の用務員、部活動バスの運行など



# 令和4年度決算報告



## 資金収支計算書

資金収支計算書とは会計年度の支払資金の収入と支出の内容を示す表です  
(単位:円)

勘定科目		決算額
事業活動による収支	介護保険事業収入	84,488,364
	障害福祉サービス等事業費収入	7,049,270
	会費収入※1	3,099,000
	事業収入	35,687,245
	共同募金配分金収入	2,808,000
	助成金収入	1,176,800
	受託金収入	83,524,420
	貸付事業等収入	103,000
	経常経費寄附金収入	142,542
	受取利息配分金収入	569
	その他の収入	21,562
	事業活動収入計(1)	218,100,772
	人件費支出	180,247,019
	事業費支出	12,018,246
	事務費支出	25,533,831
	貸付事業費支出	100,000
	助成金支出	550,000
	事業活動支出計(2)	218,449,096
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		-348,324
施設整備等による収支	収入	
	固定資産売却収入	71,910
	施設整備等収入計(4)	71,910
	支出	
その他の活動による収支	固定資産取得支出	1,597,620
	施設整備等支出計(5)	1,597,620
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-1,525,710
	収入	
その他の活動による収支	積立資産取崩収入	3,103,315
	その他の活動収入計(7)	3,103,315
	支出	
	積立資産支出	7,348,971
	その他の活動支出計(8)	7,348,971
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		-4,245,656
予備費(10)		0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		-6,119,690
前期末支払資金差額合計(12)		53,968,614
当期末支払資金残高(13)=(11)+(12)		47,848,924

※1 会費収入の内訳

社協会費 3,035,000円  
シルバー人材センター年会費 64,000円

## 事業活動計算書

事業活動計算書とは1年間の事業活動を行った結果の損益を示す表です  
(単位:円)

勘定科目		決算額
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	84,488,364
	障害福祉サービス事業費収益	7,049,270
	会費収益	3,099,000
	事業収益	35,687,245
	共同募金配分金収益	2,808,000
	助成金収益	1,176,800
	受託金収益	83,524,420
	経常経費寄附金収益	142,542
	サービス活動収益計(1)	217,975,641
	人件費	187,740,290
	事業費	12,018,246
	事務費	25,533,831
	助成金支出	550,000
	減価償却費	3,811,849
	国庫補助金等特別積立取崩額	-135,262
	基金組入額	142,615
	サービス活動費用計(2)	229,661,569
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		-11,685,928
サービス活動外増減の部	収入	
	受取利息配当金収益	569
	その他のサービス活動外収益	21,562
	サービス活動外収益計(4)	22,131
サービス活動外費用の部	支出	
	サービス活動外費用計(5)	0
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		22,131
経常増減差額(7)=(3)+(6)		-11,663,797
特別増減の部	収入	
	固定資産売却益	71,910
	特別収益計(8)	71,910
	費用	
	固定資産売却損・処分損	2
	国庫補助金等特別積立金積立額	0
特別増減費用の部	特別費用計(9)	2
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	71,908
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		-11,591,889
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	52,688,934
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	41,097,045
	基本金取崩額(14)	0
	基金取崩額(15)	1,440,000
	その他の積立金取崩額(16)	0
	その他の積立金積立額(17)	42
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	42,537,003

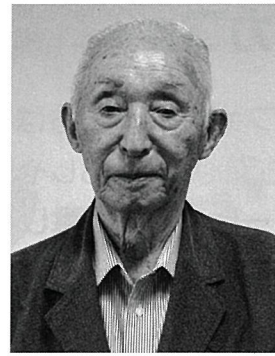
## 貸借対照表

貸借対照表とは会計年度末における全ての資産、負債及び純資産の状態を示す表です

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	60,947,360	流動負債	20,158,437
現金預金	44,194,436	事業未払金	10,646,308
事業未収金	14,175,310	その他の未払金	1,820,520
未収金	158,762	預り金	18,530
未収補助金	1,788,020	職員預り金	553,078
立替金	0	前受金	60,000
前払金	104,820	賞与引当金	7,060,001
前払費用	526,012	固定負債	66,076,718
固定資産	80,548,425	退職給付引当金	66,076,718
基本財産	1,000,000	負債の部合計	86,235,155
定期預金	1,000,000	純資産の部	
その他の固定資産	79,548,425	基本金	1,000,000
建設附属設備	149,417	基本金	1,000,000
車両運搬具	6,133,326	基金	6,841,967
器具及び備品	1,819,337	福祉基金	6,841,967
電話加入権利	292,584	国庫補助金等特別積立金	667,172
ソフトウェア	599,358	国庫補助金等特別積立金	667,172
退職手当積立基金預け金	51,741,150	その他の積立金	4,214,488
退職給付引当資産	7,650,798	その他の積立金	4,214,488
福祉基金積立資産	6,841,967	次期繰越活動増減差額	42,537,003
介護保険財務調整基金積立資産	4,214,488	(当期繰越活動増減差額)	-11,591,889
その他の固定資産	106,000	純資産の部合計	55,260,630
資産の部合計	141,495,785	負債及び純資産の部合計	141,495,785

# 昔とった杵柄 シルバ ー健在



ナカ  
ムラ  
テツ  
ミ  
中村 哲 美さんの巻  
昭和十二年三月二十六日生まれ 八十六歳

昔「撮った」杵柄

趣味で始めた写真撮影が50数年、今年その傑作を集めた写真集を出版した中村哲美さんにうかがいました。

中村哲美さんは昭和12年3月26日に中村芳美さん、やえさんの3人の子の次男として目時で出生。学校を出て、国鉄保線区員となり、ちょうど当協議会の関向文男前会長の同僚として、列車の安全運行に定年まで働き、私たちの

旅の安全を守ってくれました。

マイナス10度以下の雪深い奥中山の線路工事や、昭和43年5月の十勝沖地震により各地で線路が寸断、1週間家に帰れず、モーターカーの中で仮眠しながらの復旧工事など、苦勞が多いなかで、同年10月の東北本線全線電化と復線工事が完了、特に目時駅近くで鐵路が結ばれる時の感激は忘れることのできない喜びだったといひます。

そんな中で昭和38年、青年団の

青森大会が開かれ三戸大神宮から関根（現図書館や警察署）の旧三戸中学校まで炬火リレーで走った時の写真屋さんの動きに惹かれたのがきっかけでカメラが欲しくなりました。

当時カメラは初任給の2倍以上、両親もすぐには出せない出費で、おまえがりんごを売った分で買えと言われ、遂にヤシカの二眼レフカメラを手にしたのでした。

それからはカメラをかついで風景を探し回り。カメラアングルを決めるのに山に登ったり、ヤブこぎをしたり、土手の上り下りをしながら撮り歩いて、50年以上の歳月が流れました。人物写真はお願いする面倒があるため風景写真に限ったのです。

腕が上がり、数々のコンテストに入賞するようになりましたが、

中でも運輸大臣賞受賞のとき、秋篠宮殿下のすぐそばに座れたのは最大の喜びとなりました。

写真は青森、岩手、秋田県を中心に列車の旅を楽しみながら、遠く北海道や九州の素晴らしい風物、デジタル時代になってもフィルムにこだわった作品として綴られています。この3月にはこの写真集を町に寄贈しましたが、ご覧になりたい方は、図書館やウエノ写真館、社協にもあります。ぜひご覧ください。

友人の写真家は88歳の米寿を記念して88ページの写真集を出したのに同感しながら、自分は91ページで出版。最近、脊椎ヘルニアで歩くのがおっくうと言ひながら、歳はページ数を超える意気込み、この先も元気にシャッターを切りまくって！

（文責 川村亨）



## オレンジカフェ ふくじゅそう



オレンジカフェは地域の方はもとより、認知症の人とその家族、色々な悩みを持つ人など、**どなたでも安心して**、おしゃべりや専門家への相談ができる場所です。

美味しいコーヒーをご用意してお待ちしています、お気軽にお申込みください♪

- 開 店: 第3火曜日 午後2時～3時
- 場 所: ふくじゅそう地下1階
- 参加費: 100円
- 申込み: お電話でお申込みください

●これからの予定 10/24(火) 11/21(火) 12/19(火)

都度開催チラシも発行しますので、回覧板をご覧ください

## 4年ぶりの開催!高校生がオレンジカフェでボランティア

8月22日(火)、4年ぶりとなるボランティアスクールを開催し、高校生5名がオレンジカフェでボランティア活動を行いました。

当日は接客をはじめ、コーヒーやかき氷づくり、夏祭りを題材にしたすごろくの進行など、様々な役割を頑張ってくれました。

活動を通じて地域の方との交流も深まり、参加した生徒からは「緊張したが、皆さんと一緒に楽しめた。地域の方の笑顔が嬉しかった」という声が聞かれました。



かき氷を食べながらのすごろくは大盛り上がり



活動を終え、修了証を持って記念撮影

## 赤い羽根共同募金運動へのご協力のお願い



例年、共同募金運動にご協力をいただきありがとうございます。

昨年度は**3,647件、332万4823円**をご寄附いただきました。このご寄附は青森県共同募金会を通じて、生活困窮者支援や子育て支援などの財源として活用させていただきました、誠にありがとうございました。

今年も10月1日から翌年の3月31日の6ヶ月間、全国一斉に募金運動が行われますので、ご協力をよろしくお願い致します。

●お問い合わせ 三戸町社会福祉協議会まで TEL.22-0262 FAX.23-4146